

SORA

web magazine 2014.jul. vol.37

Liloadan *the Philippines*

「まるごと海」の休日
を
リロアン・マリンビレッジで!

MAP
CLICK!

Photo & Text : Yasuaki Kagii

モルディブ、パラオ、タイ、コモドとカラフルでお気に入りの海はたくさんある。モルディブやパラオほど知名度が高くないけれど、実はフィリピンにもかなりお気に入りの海がある。セブ島の最南端に位置するリロアン。とびきりのハウスリーフとダイバーのためのリゾートが「まるごと海」の休日を楽しませてくれる。

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2014
World Tour Planners Co.,Ltd.
All Rights Reserved.



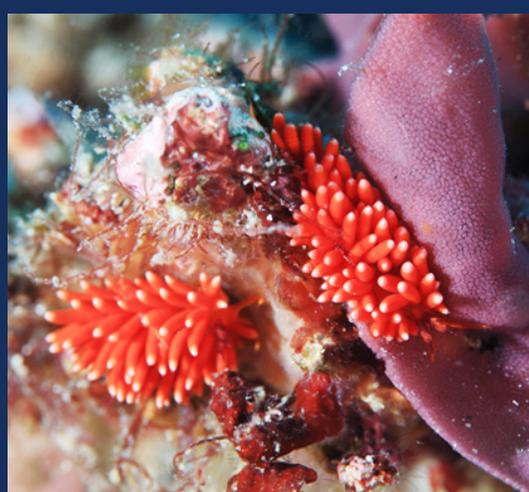
驚き Surprise



ハウスリーフで 「何でも会えちゃう! 撮れちゃう!」

リロアン周辺のポイントは、アンテナ、イラク、HR、LBR、ホワイトロック、マヌリバ。ポートで最大4分ほどと大変近い。全てのポイントへは、ポートで移動するが、これら7つのポイントは、実質リロアンのハウスリーフのようなもの。いつでもお気軽にエントリーすることができる。そして、このハウスリーフがとても面白い。ガイド陣がしっかりと把握している人気のマクロ生き物やオレンジ色の特徴的なソフトコーラルの森。そして、潮の流れの影響を受けるので、時間帯によって表情を変えていく。何度もリロアンに通っているゲストは「ハウスリーフ」だけで良い!という声もあり、絶大な人気を誇るポイントでもある。

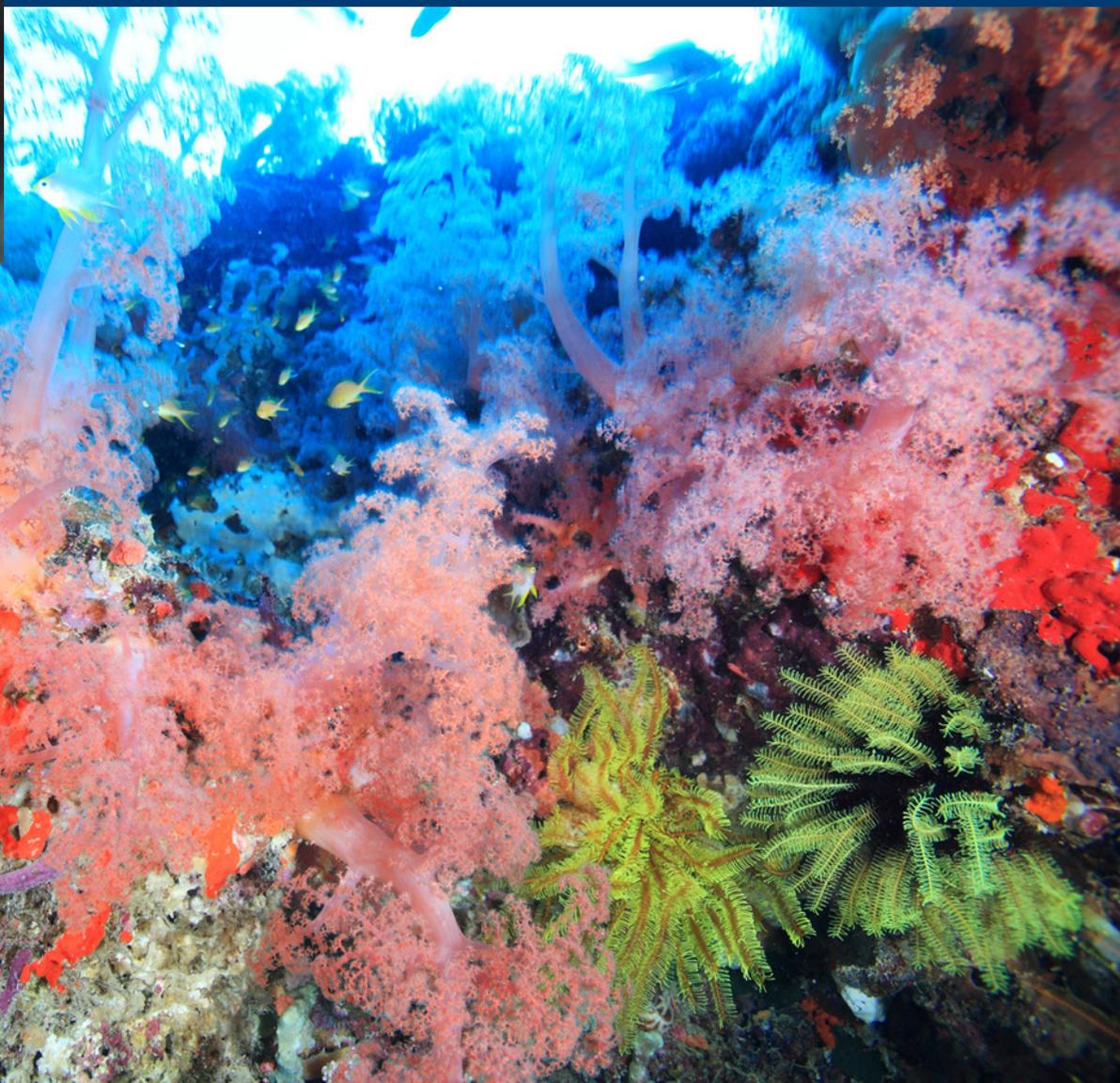
フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan





フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan

魔法がかかった リロアンのハウスリーフ



驚き
Surprise

驚き Surprise



フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan



徒歩30秒でお部屋から海へ! そして、最大6ダイブ可能!

リロアンマリンビレッジは、ダイバーのための施設。リゾート内に全て施設が整うダイバーのためのリゾート。部屋はデラックスルーム8部屋。スタンダードルーム3部屋。レストラン、ダイビングセンター、講習用のプール、ボート乗り場、水上レストランなどの集合体。宿泊施設から、歩いて数十歩で海にエントリーできる。また、リロアンはセブ最南端の田舎村で、他の娯楽施設がなにもなくダイビングに集中できる。ダイビングも少人数制のために、ダイビング、水中写真のスキルアップも可能。ナイトダイブもリクエストベースで可能。パッケージ3本+早朝、ナイトで最大6ダイブ可能!



海 Ocean

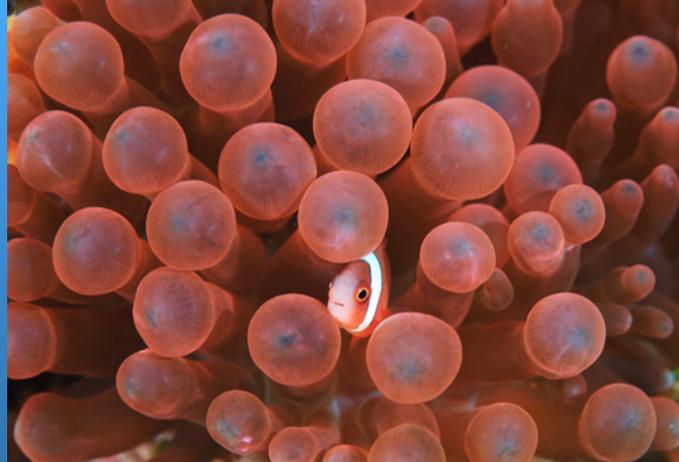
リロアンの海の魅力は、もちろんハウスリーフだけではない。ロングレンジのアボ島、バリカサグ島。ミドルレンジのスマロン島、ネグロス島のユタなどがある（遠征費必要）。人気は、アボ島、バリカサグ島で、ビサヤエリアで人気のポイントにリロアンを拠点に行けるのも強み。ネグロス島のユタは、砂地でマクロの生き物が満載。特にハゼ系で、メタリックシュリンプゴビー、ヒレナガネジリンボウなど。人気ポイントだが、雨に弱いので近くて遠いポイントでもある。遠征先では、3ダイブできるので、1日中違う海を満喫することができる。

フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan





海
Ocean



フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan



ガイドの川崎准くんが語る
ヘナチユラル・アポ島V

アポ島で、私が思うアポ島の No.1 はサンゴです！ でもゲストはギンガメアジを求めているので、やっぱりギンガメアジが No.1 かな… (笑)。ギンガメの魅力は、1 個体のサイズとその群れの大きさです。潮流次第では、セブエリアで、一番群れるのではないかと思います。流れているときは壁になります！ また、大潮の後は、カップリングとなり、群れは散らばりますが、白黒のおセロのようで面白いです。

そして、サンゴですね。浅場のサンゴがとても美しい。色も種類も、ポイントによってもバリエーションあります。サンクチュアリは、ひとつひとつのサンゴの個体が大きいし、ハマサンゴは人間よりも大きいものもあります。深場のサンゴも注目です、アポに来て一番驚いたのは、水深 20m を超えるところまでサンゴが続いていることです。はっきり言って、魅力的です。

そして、カメが多い！ リロアン周辺、スミロン島では、カメは見られないのですが、アポ島に行ったら、高確率で見ることができます。きれいなサンゴの間や上にいるので、とても絵になります。柔らかいソフトコーラルの上でぐたと休んでいる姿なんて、とても可愛いですよ。

海 Ocean

スミロン島の可愛いお魚たち

スミロン島ではリロアン周辺では見られないスズメダイの種類がいるので、是非、注目して欲しい。例えば、代表的なのはバーチーク・ダムゼル。日本でも見られない種類で、幼魚から成魚への成長段階の柄の変化が魅力的。幼魚が特に可愛く、目のところにあるブルーの発色が美しい。また、スプリングーズ・ダムゼルも日本では見られない種。ぱっと見は普通種だが、良く見ると、ネオンみたいな発色の柄が浮き上がって出てくるのが魅力。コンパクトデジカメでも撮影可能で、撮影するとより柄の特徴がわかる。そして、キャンディーケイン・ドワーフゴビーも飴玉に似ている柄が可愛く、個体数がとても多いので、リロアンでは見れないベニハゼとして、是非見て欲しい。そして、サンゴの群棲。アボ島のサンゴも魅力的ですが、スミロン島のサンゴは、アボとは違い、サンゴの上に小魚が群れている。また、浅場に広がるサンゴには、色彩があり、水族館のようなイメージだ。



フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan



R

ロマンス
Romance

フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan



今年（4月）に出版した写真集「夢色の海（パイインターナショナル 刊）」の作品撮りのために、お魚に溢れ、様々な環境で、優しいトーンの写真が撮影できる海を探していた。WTPの遠藤社長に相談して、リロアンとモアルポアルに向かった。写真集には、リロアンで撮影した作品がたくさん掲載となった。現地では、関口さんと、このようなテイストで作品

が撮りたいと伝え、水中のコーディネートをしてもらった。その後に、ファッションデザイナーとのコラボレーションでも、リロアンでの作品がたくさん採用された。作品が撮れる海・リロアン。コンパクトデジカメから一眼デジタルカメラまで持つ幅広いフォト派ダイバーをガイドする関口さん曰く、「リロアンの海は、練習しながら本番の海だ！」そうだ。参りました！

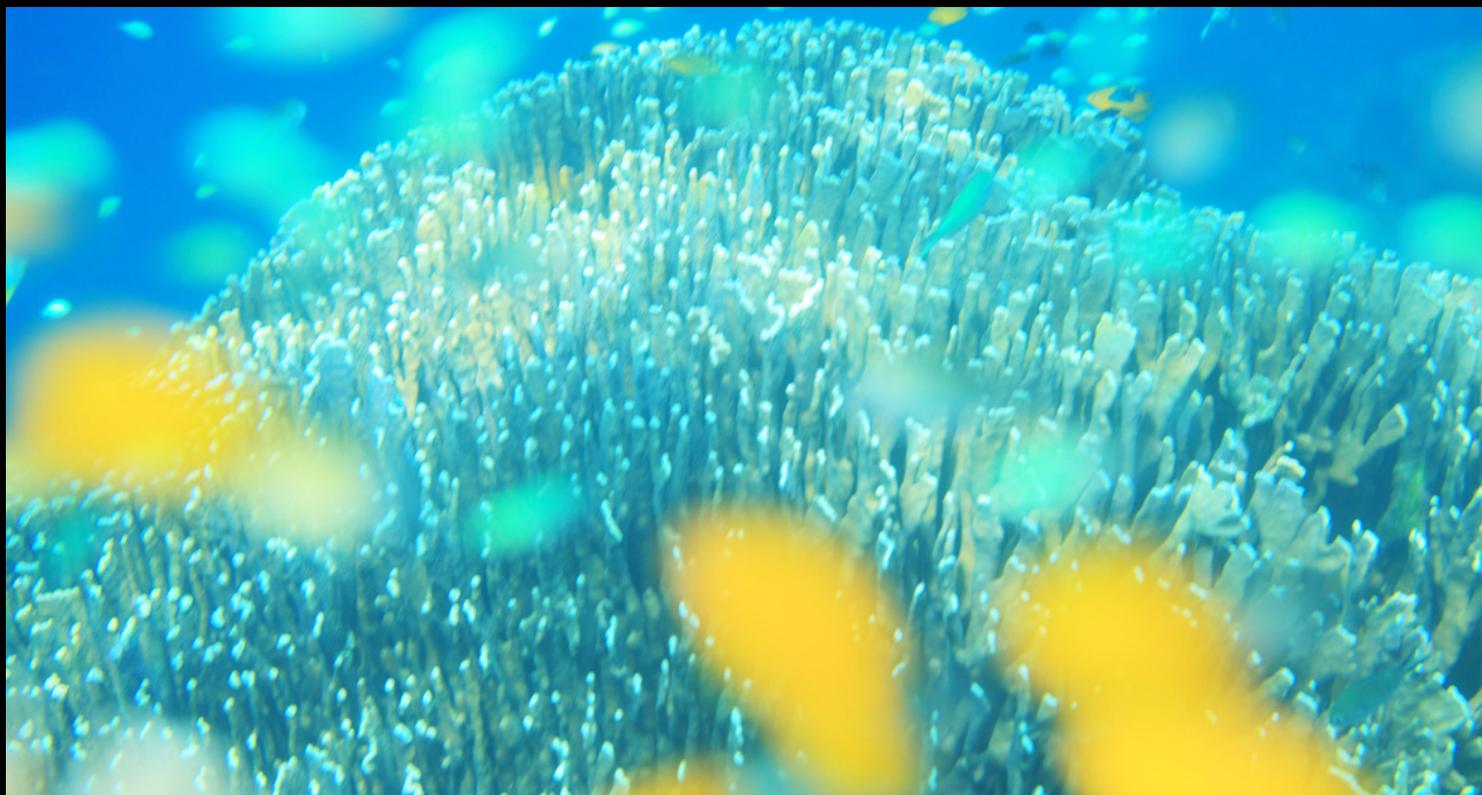
Romance

ロマンス



フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan

「夢色の海」 が生まれた海へ



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく



行動 Action

リロアンアマリンビレッジのダイビングチーム

チーフガイドの関口（グッチー）さんを筆頭にランディ、ルイ、准とベテランと若手のガイドが混合チーム。陰のボスは陽子さん。ビギナーからベテランまで、幅広くカバー。大型のバンカーボートを3隻。スピードボートを4台所有。



フィリピン・リロアン
the Philippines
Liloan



シーズナリティ

1～3月、季節風が吹き、水温が26度くらいまで下がる。5mmのフルスーツとフードベストがあったほうが無難。



ダイビングエリア

遠征ボートダイビングは、ロングレンジのアボ島（1時間半）、バリカサグ（1時間45分）、ミドルレンジのスマロン島、ユタ（30分）。遠征はリクエストベースで行われている。リロアン周辺のポイント、アンテナ、イラク、HR、LBR、ホワイトロック、マヌリバ。ボートで最大4分ほど。ボートで移動するが、全て、リロアンのハウスリーフのようなもの。

